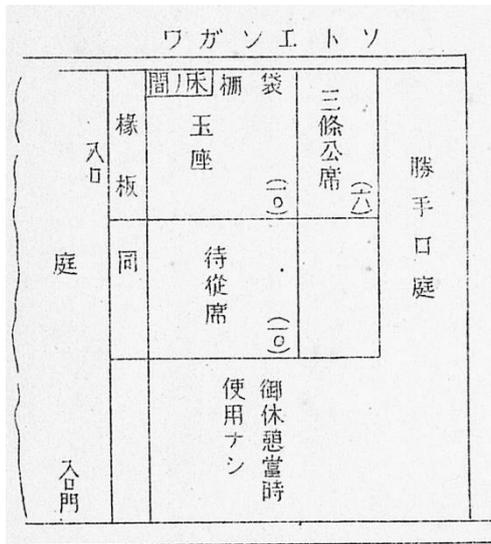


郷土館の変遷

昭和 10(1935)年『愛知県史跡名勝天然記念物調査報告第 16』

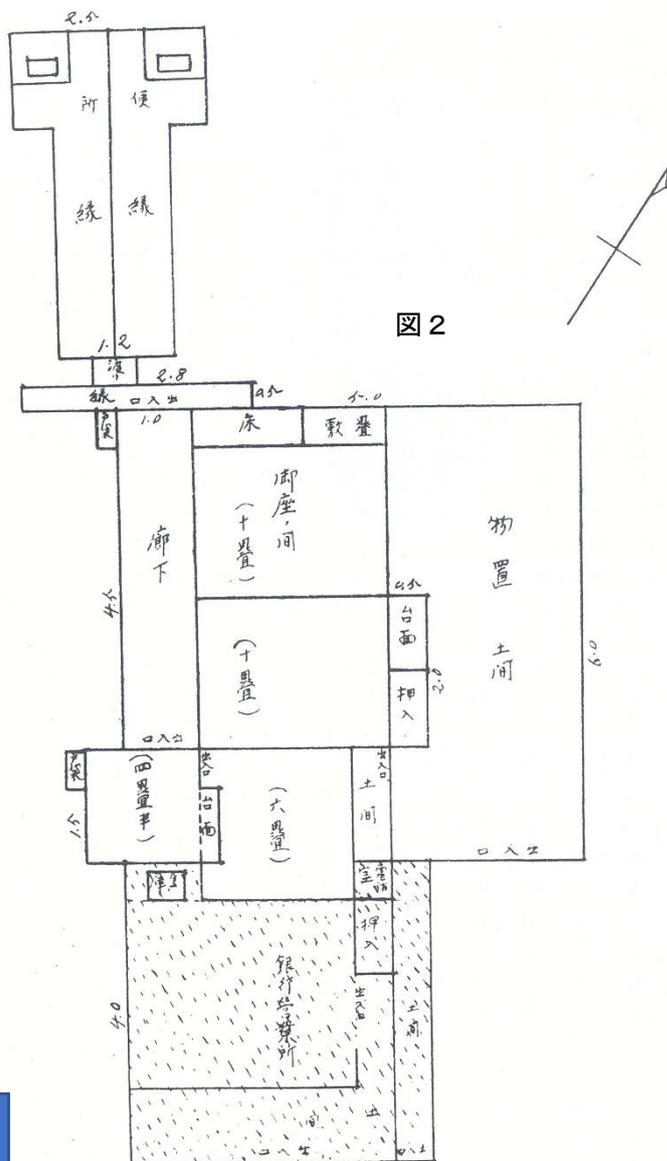
図 1

大正 8(1919)年『愛知県聖蹟誌』



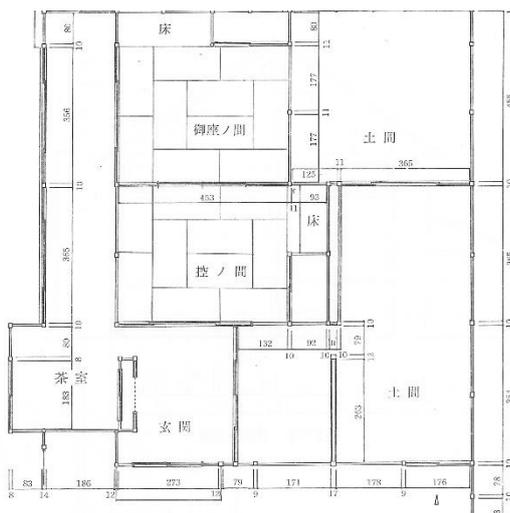
- ・玉座(10 畳)の南側に待従席(10 畳)、東側に三條公席(6 畳)とがある。
- ・明治天皇は入口門を通行して縁を上がり、玉座に着座

図 2



昭和 60(1985)年『春日井市史地区誌編 2』

図 3



- ・南側営業所は撤去される。間取は、現在と同じ。
- ・昭和 42(1967)年～昭和 46(1971)年春日井商工会議所として使用。
- ・土間部分を事務所として使用。土間の北側に出入口が増設されていたが、郷土館開館時に撤去。

- ・大正 6(1917)年農産銀行営業開始
- ・大正 13(1924)年～昭和 19(1944)年大垣共立銀行勝川支店鳥居松出張所として使用
- ・建物南側に銀行営業所と北側に便所が増築されている。
- ・間取は、10 畳 2 間は残るが、廊下を拡幅して接客用途の茶室(4.5 畳)と 6 畳間を新設されている。
- ・昭和 25(1950)年大垣共立銀行が市に寄付 (所有権移転は昭和 26 年)
- ※増築新設時期は不明

写真1 大正8(1919)年『愛知県聖蹟誌』(玉座・西側縁)

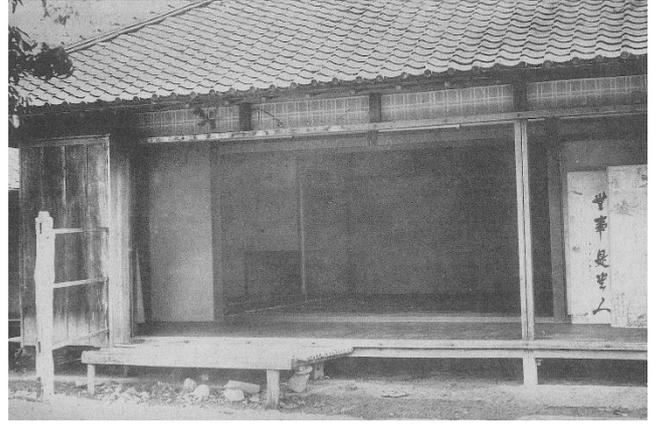
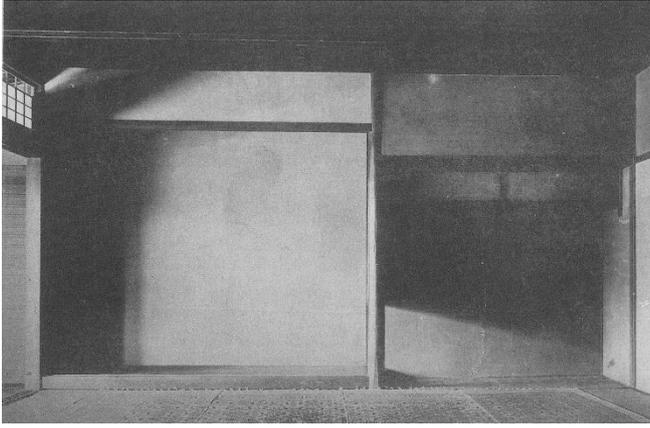


写真2 昭和10(1935)年『愛知県史跡名勝天然記念物調査報告第16』(郷土館南側銀行営業所・玉座)

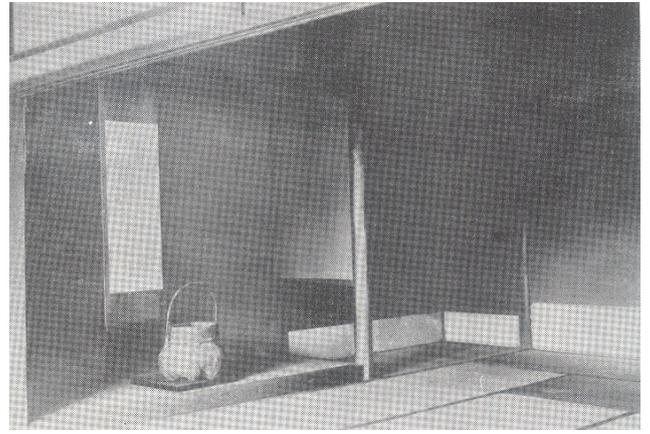


写真3 昭和48(1973)年4月~6月 郷土館修繕工事(土塀・屋根葺替・壁板取替・壁塗替)

